

部活動地域移行の進捗状況

1 国の動向

(1) 部活動の課題

- ・ 持続可能という面で厳しさを増しており、中学校生徒数の減少が加速化するなど、深刻な少子化が進行
- ・ 競技経験のない教師が指導せざるを得なかったり、休日も含めた部活動の指導が求めたりするなど、教師にとって大きな負担

(2) 改革の方向性：まずは休日の運動部活動から段階的に地域移行していく

令和4年6月・8月（スポーツ庁・文化庁） 運動・文化部活の地域移行に関する検討会議	休日の部活動から段階的に地域移行 令和5年度から開始し、令和7年度を目途
令和4年12月（スポーツ庁・文化庁） 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の 在り方等に関する総合的なガイドライン	休日における地域の環境の整備を着実に推進 令和5年度から令和7年度までを <u>改革推進期間</u> とし、可能な限り早期の実現を目指す

2 本市の状況（令和4年度）

(1) 部活動参加状況及び部活動設置数

生徒総数	部員数	参加率	運動部数	文化部数	総部数
22,170	16,140	72.8%	555	184	739

- ・ 1部活動に所属する生徒数が減少している。
- ・ 団体競技において、参加人数に満たない場合が出てきている。

(2) 本市課題に対する取組

① 合同部活動

- ・ 単独ではチームが構成できない学校が協力して活動を行う制度
- ・ 平成16年度より実施（福岡県中体連）
- ・ 37校、58部活、28チームが活用

② 連携部活動（拠点型）

- ・ 自分の在籍する学校に希望する部活動がなくても近隣の学校で活動できる制度
- ・ 令和4年度より北九州市独自に実施
- ・ 22名が制度を活用し他校での活動に参加

3 令和4年度 部活動地域移行の取組結果（別紙1）

4 令和5年度 部活動地域移行の取組状況（別紙2）

5 課題と今後の進め方

- 課題：少子化や、学校の働き方改革などが進む中、これまでと同様の部活動の運営体制では、学校によっては部活動を存続させるのが難しいと見込まれる。
- 今後：「北九州市部活の未来を考える会」で聴取した意見をもとに、教育委員会として方向性をまとめ、北九州市の部活動地域移行のあり方を示す予定。

令和 4 年度 部活動地域移行の取組結果

I 部活動地域移行モデル事業

- (1) 概要：5校・5部活の休日の活動をNPO法人北九州スポーツクラブACEと北九州市卓球協会に運営を委託

モデル校（種目）	活動内容	委託先
菊陵中（野球部）	・平日は学校部活動として実施し、休日は地域クラブ活動として実施 ・休日（土日祝）の運営を団体に委託	NPO法人北九州 スポーツクラブACE
篠崎中（陸上部）		
白銀中（バスケットボール部）		
穴生中（バレーボール部）		
高見中（卓球部）		北九州市卓球協会

- (2) 成果及び課題（生徒及び保護者、顧問、管理職へのアンケートより）

- 生徒・保護者
 - ・ 専門の方の指導はとても勉強になり、技術面はもちろん、精神面も前向きになりとてもよかった。
 - ・ 欠席連絡など、個人情報関係でスムーズに連絡ができない。
- 顧問・管理職
 - ・ 土日の教員のワークライフバランスの推進につながる。
 - ・ 「顧問がいない場合は廃部せざるを得ない」等の毎年起こる課題を部活動地域移行によって改善できると思われる。
 - ・ 今後、休日のみならず、平日（週1回だけでも）の運営にも広げてほしい。

2 部活動地域移行に係るオンラインイベント「これからの部活動の話をしよう！」

- (1) 概要：市内14校、140名の生徒がオンラインでつながり、「現在の部活動の課題・困っていること」や「地域に移行されたらこんな姿になるといいな」と自由に意見交換した。
- (2) 生徒から出された意見（抜粋）
- ・ 部員が少なく、十分な活動ができない。
 - ・ 経験者ではない指導者が顧問となっている。
 - ・ 同じ競技でも目標に応じた活動ができるような活動環境があると嬉しい。

3 部活動地域移行に係る職員研修

- (1) 概要：各学校において、全教職員を対象に「国の示す部活動地域移行について」の動画を用いて説明し、「部活動地域移行に思うこと」「教員の将来的な部活動への関わり方」についてグループ協議を実施した。
- (2) 教員から出された意見（抜粋）
- ・ 業務改善として非常に有効である。完全な移行を希望したい。
 - ・ 本来の仕事である教科教育に力を注ぐことができる。
 - ・ 教育的な面での指導も継続できるようなシステムを構築してほしい。
 - ・ 部活動指導の意義ややりがいを感じる教員もいる。

令和 5 年度 部活動地域移行の取組状況

1 部活動地域移行モデル事業

- (1) 目的：生徒にとって望ましい環境の確保や、教員の働き方改革の視点から、部活動改革を進めるため、休日（土日祝）の学校部活動を地域部活動として実施できる環境を整えることを目的に実施。
- (2) 実施校及び実施状況
 - ◇ 運動部（3部活）

モデル校（種目）	活動内容	委託先	実施状況
篠崎中 （陸上部）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平日は学校部活動として実施し、休日は地域クラブ活動として実施 ・ 休日（土日祝）の運営を団体に委託 ・ 新たに地域バスケットボールクラブを立上げ、運営を団体に委託 ・ 休日の部活動に代わる環境を整備 	NPO法人北九州 スポーツクラブACE	7月29日開始
穴生中 （バレーボール部）			8月19日開始
地域バスケット ボールクラブ			10月中に開始予定 （八幡東区の中学生を対象に実施）

◇ 文化部（2部活）

モデル校（種目）	活動内容	委託先	実施状況
地域マンガクラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たに各クラブを立上げ、運営を企業や大学に委託 ・ 休日の部活動に代わる環境を整備 	株式会社COLT	9月3日より開始 （全市美術部に所属する中学生を対象に実施）
地域吹奏楽クラブ		九州国際大学	10月中に開始予定 （八幡東区の中学生を対象に実施）

2 部活動地域移行に係るアンケート調査（別紙3）

- (1) 目的：生徒、保護者、教員の実態を把握し、部活動地域移行のあり方に生かす。
- (2) 対象：中学校（全生徒・保護者・教員）
小学校（5・6年生保護者）
- (3) 期間：令和5年6月6日（火）から6月23日（金）

3 部活動地域移行のあり方検討会議「北九州市部活の未来を考える会」

- (1) 目的：生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を将来にわたって確保することを目的とし、学校部活動から地域クラブ活動への移行に向けて、有識者等から幅広く意見を聴取するため。
- (2) スケジュール（6回を予定）

	月 日	主な議事の内容
第1回	5月17日	アンケート調査、国及び本市の取組
第2回	7月 3日	少子化時代における部活動存続のための対応
第3回	8月 7日	休日の部活動の在り方
第4回	10月下旬	指導者の確保
第5回	11月中旬	事務局による意見の取りまとめについて
第6回	11月下旬	事務局による意見の取りまとめ確認

部活動地域移行に関するアンケート調査結果概要

北九州市教育委員会

1 アンケートの目的

北九州市では、部活動の地域移行の在り方を検討するため、外部有識者や学校、地域団体の代表者で構成される「北九州市部活の未来を考える会」を設置した。本アンケートを通して、本市の状況を把握するとともに、本会議の資料とするため、アンケート調査を実施するもの。

2 調査期間

令和5年（2023年）6月6日（火）から6月23日（金）

3 アンケートの対象及び回答方法

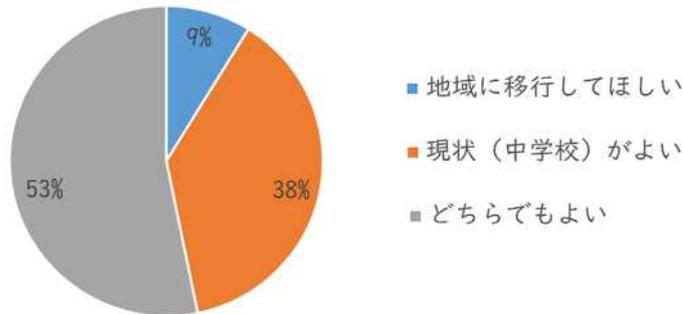
対象	回答方法	対象数 (全数)	回答数	回答率
中学生	Microsoft Forms を使用	22,161 人	12,460 人	56.2%
中学校保護者		22,161 人	7,388 人	33.3%
教 員		1,657 人	1,155 人	69.7%
小学校5・6年生保護者		15,340 人	4,505 人	29.3%

※ 中学生、中学校保護者、小学校5・6年生保護者の対象数は、北九州市 HP 掲載「市立学校・幼稚園 学級数及び園児数・児童数・生徒数〔速報値〕（令和5年5月1日現在）」より

※ 教員の対象数は、令和5年5月1日現在

中学生 アンケート結果概要

Q① 中学校の部活動を地域移行してほしいですか。



中学生は、地域での活動よりも学校部活動として活動したいと感じている。

Q② 運動や文化に関わる活動をしていますか。



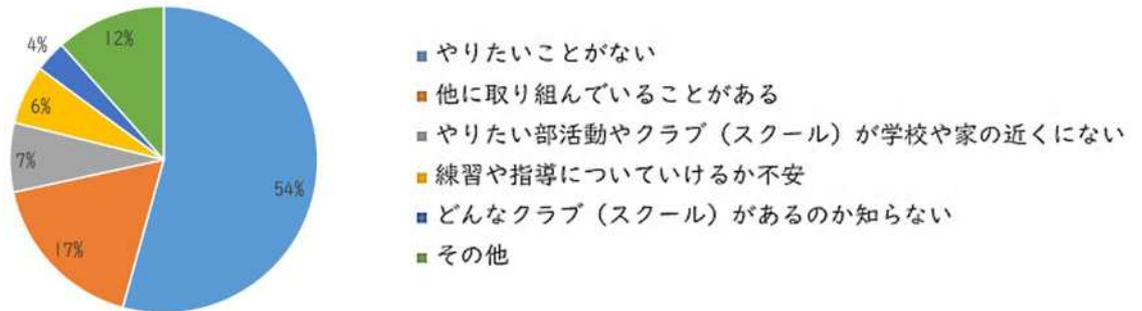
中学生の約8割が、学校部活動または地域のクラブ（スクール）で活動している。

Q③ 部活動や学校外のクラブ（スクール）での活動で、「もっとこうなったらいいのに」と思うことがあれば教えてください。

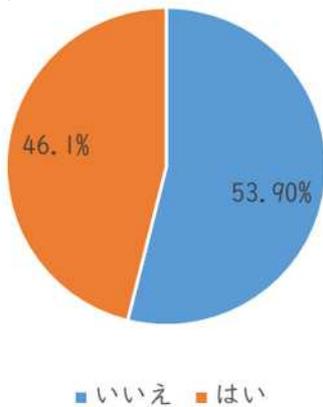


「気軽に参加できる活動がよい」、「専門の指導者から教えてもらいたい」、「練習場所を確保してほしい」等の回答が多い。

Q⑭ 部活動にも学校外のクラブ（スクール）にも所属していない理由は何ですか。



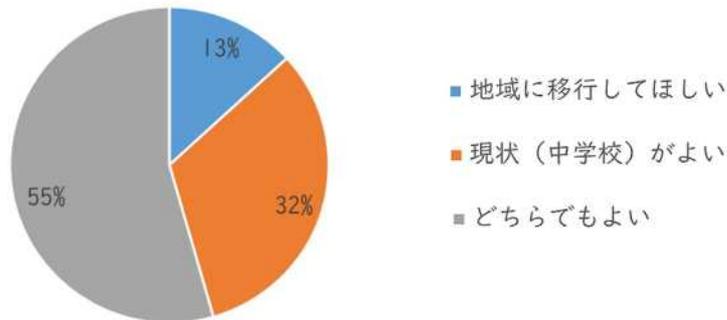
○ 「やりたいことがない」と回答した内、「課題等が解消すれば参加したいか」の回答の割合



Q②で「活動していない」と回答した生徒の5割以上は、「やりたいことがない」と感じており、その内の4割以上は「課題が改善すれば（やりたいことがあれば）」参加したいと感じている。

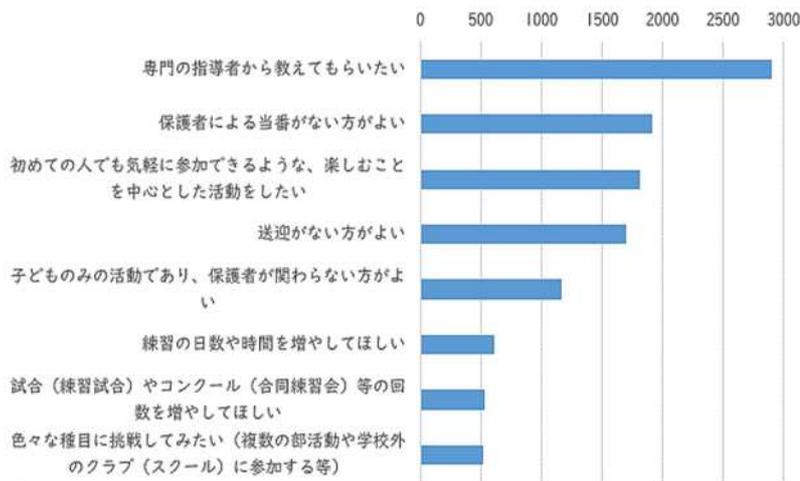
中学生保護者 アンケート結果概要

Q① 中学校の部活動を地域移行してほしいですか。



中学生の保護者は、地域での活動よりも学校部活動として活動してほしいと感じている。

Q⑯ 部活動や学校外のクラブ（スクール）での活動で、「もっとこうなったらいい」と思うことがあれば教えてください。



「専門の指導者から教えてもらいたい」、「保護者の当番や送迎がない方がよい」、「初めての人でも気軽に、楽しむことを中心とした活動」等の回答が多かった。

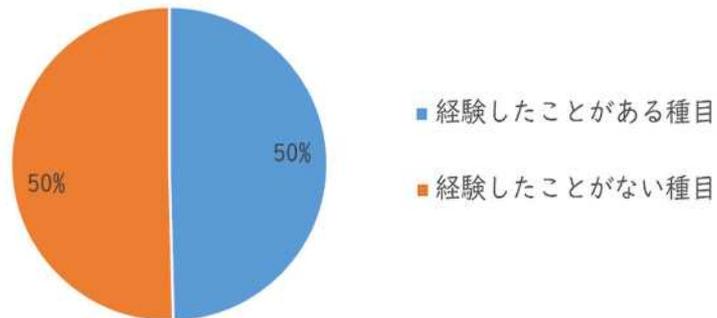
Q⑳ 部活動地域移行後の活動に参加する場合、毎月の会費としていくらまでの負担なら許容できますか。



地域移行後の費用負担については、月1000円以下から3000円程度が約8割を占めている。

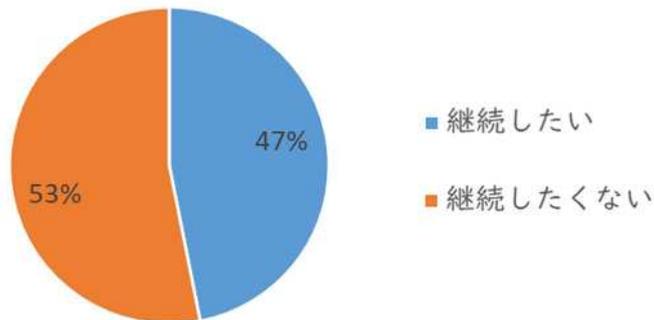
教員 アンケート結果概要

Q⑥ 現在、担当している部活動はご自身が経験したことがある種目ですか。

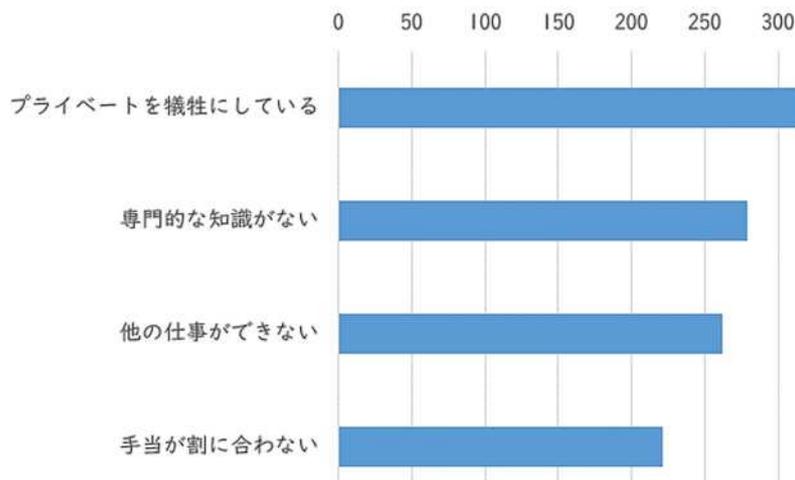


部活動指導に従事している教員の半数は、自身が経験したことがない種目を指導している。

Q⑧ 現在、担当している部活動の指導を継続したいですか。



Q⑩ 指導を「継続したくない」理由は何ですか。

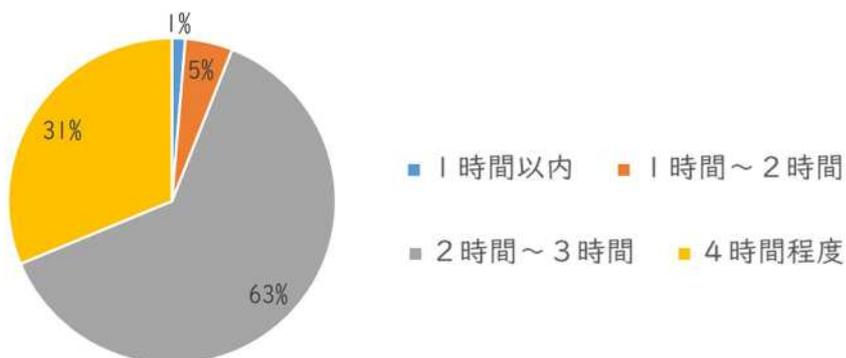


部活動指導に従事している教員の半数以上は、「プライベートを犠牲にしている」、「専門的な知識がない」、「他の仕事ができない」等の理由から、今後、指導を継続したくないと感じている。

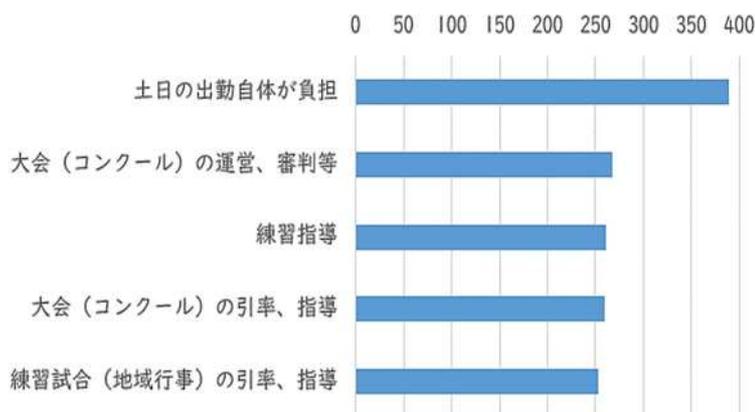
Q⑮ 平日1日当たりの部活動従事時間を教えてください。



Q⑰ 土日・祝日1回の練習指導従事時間を教えてください。

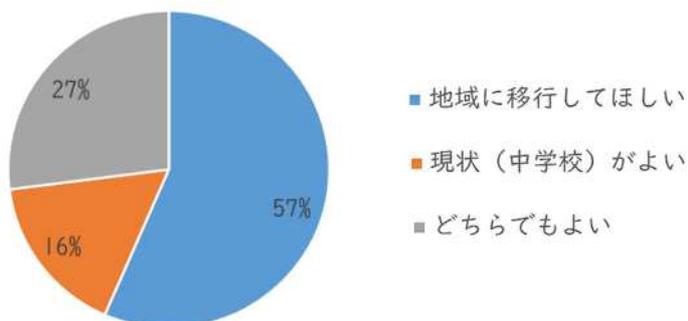


Q⑳ 土日等の部活動従事業務で負担だと思ふ項目を教えてください。



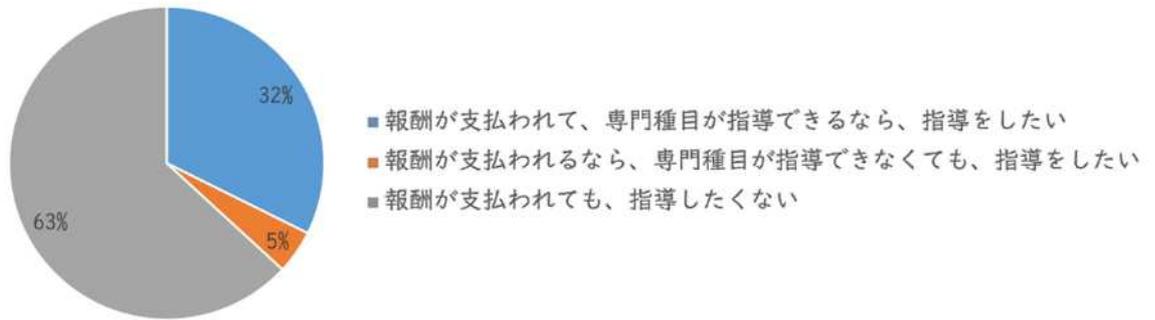
教員の多くは、平日は1時間半から2時間半、休日は2時間から4時間、指導に従事している。また、休日の「出勤自体」、「大会」、「練習指導」、「練習試合」等に負担を感じている。

Q㉔ 中学校の部活動を地域移行してほしいですか。



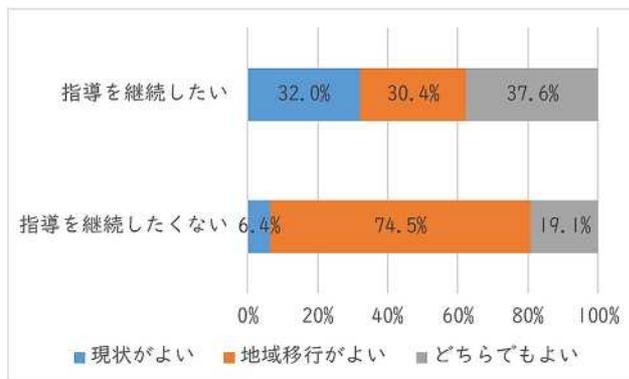
教員の約6割が部活動地域移行を望んでいる。

Q⑳ 報酬が支払われるなら、地域移行後も指導したいと思いますか。

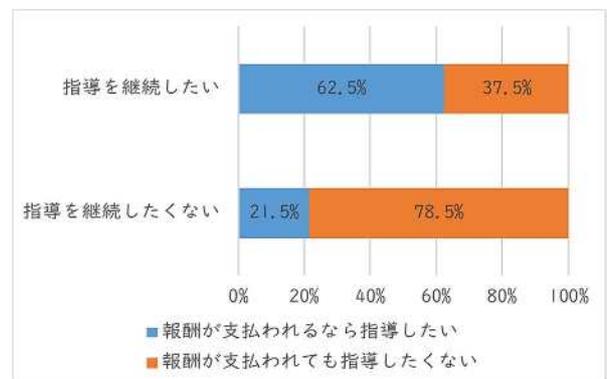


部活動地域移行後、「報酬が支払われても指導に従事したくない」と考えている教員が、6割強いる。

○ Q⑧「指導の継続希望有無」の回答結果と『「地域移行」及び「移行後の指導」を希望するか』の関係

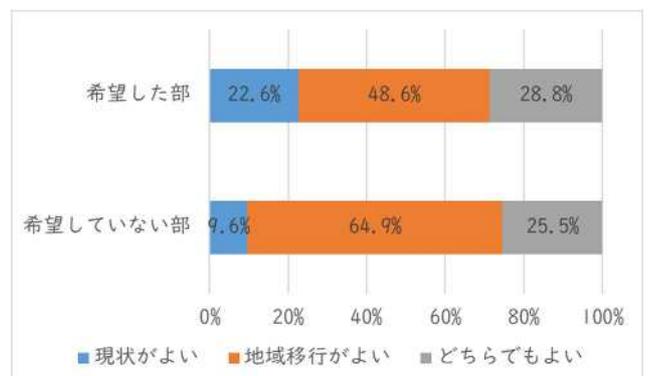
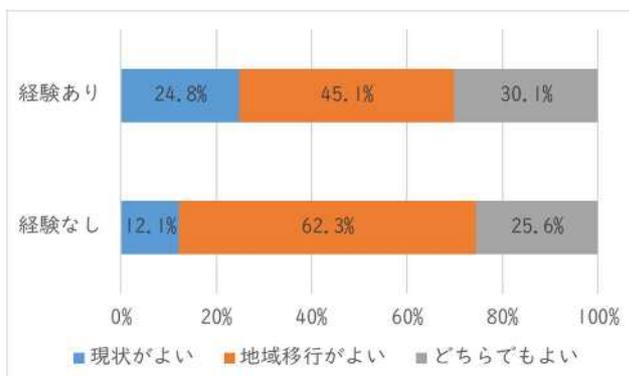


Q⑧で「指導を継続したい」と回答した教員のうち、3割以上が「地域移行」を望んでいる。



Q⑧で「指導を継続したい」と回答した教員のうち、3割以上が「報酬が支払われても指導したくない」と回答している。「報酬が支払われるなら指導したい」と回答した教員も一定数いる。

○ 「自身の競技経験の有無」、「希望した部活動かどうか」と「地域移行を希望するか」の関係



「競技経験の有無」、「希望した部活動かどうか」に関わらず、地域移行を望む割合は高い。

小学校5・6年生保護者 アンケート結果概要

Q① 中学校の部活動を地域移行してほしいですか。



小学校5・6年生の保護者（児童）は、地域での活動と学校部活動のどちらにも魅力を感じている。

Q⑨ 活動の内容は、どのようなものだと良いと思いますか。お子さまと一緒に考えてお答えください。



「当番や送迎など、保護者の負担がない活動」、「初めての人も気軽に参加できる、楽しむことを中心とした活動」、「運動や文化的な活動をする習慣を身につける」等の回答が多い。

Q⑩ 部活動地域移行後の活動に参加する場合、毎月の会費としていくらまでの負担なら許容できますか。



地域移行後の費用負担については、月1000円以下から3000円程度が約7割を占めている。